

学校だより



〈りょくふう〉

校訓 継続は力なり

学校教育目標 「自らの力で未来を拓く生徒の育成」

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和5年5月1日(月) 第2号

「成功」の反対は……挑戦しないこと

校長 二瓶 亮

4月10日(月)から始まった新年度の学校生活も1カ月が過ぎようとしています。授業も始まり、程よい緊張感の中で真剣に学ぶ姿勢や積極的な発言、ICT機器を活用した授業が行われています。21日(金)には部活動発足会があり、1年生が入部した新しい体制での部活動が始まりました。さらに体育祭の練習も始まっており、学校生活の様々な場面で、吹中生の輝く姿が見られます。この状況を忙しくて大変と感じている人もいるかと思いますが、コロナ禍でやりたくても出来なかったことの多かった先輩たちがいたことを思えば、忙しさも幸せなことなのかもしれません。また、この経験が後々、一人一人の生きる力につながります。吹中生にはこれからも「主体的に学び続ける」姿勢で学校生活を送ってほしいと思います。



さて、「成功」の反対は？と聞かれたら、皆さんは何と答えますか。多くの人が「失敗」と答えると思います。しかし、「成功」という言葉の前に「人生で」を付けたら違う答えになると考えた人がいます。

加賀乙彦氏(作家、精神科医)は自らの著書『不幸な国の幸福論』の中で成功について「言葉の意味だけをとらえるなら、その反意語は『失敗』となるが、人生で成功の反対の意味は『チャレンジしないこと』である」と述べています。この言葉を聞いて

「確かにそうだ」と感じた人もいるでしょう。さらに、加賀氏は「若い人たちには失敗を恐れず挑戦してほしい。傷つくことを恐れず人と深く関わり、希望をもって世界を広げてほしい」とも述べています。まさにこれからの時代を自分らしく生き抜くために必要な経験だと感じます。吹中生にはぜひ、この姿勢をもって学校生活を送ってほしいと思います。

中学校には様々な意見や考え方をを持った生徒が通ってきています。1つの課題、1つの行事に取り組むときにもそれぞれの向き合い方があります。活動していく中で当然、衝突が起きます。また、何かに挑戦していくときに自分の思い通りの結果が得られないことも起きます。吹上中学校ではそういう状況の中で「折り合いを付ける力」「失敗から学ぶ(立ち直す)力」が付くよう、教育活動を展開する、支援するように取り組んでいきます。本校の教職員は温かく、熱心です。保護者や地域の方々もPTA活動等を通して本校の教育活動を支えてくれています。このような恵まれた環境の中で、吹中生にはいろいろな挑戦をすることで自分の強みを見つけたり、心や体を鍛えたりしながら自らの力で未来を拓いて人生を創っていく、中学校をそんな経験を積む場としてほしいと願います。今後も、チャレンジし続ける吹中生を信じて見守る、陰で支える協力体制を家庭・地域と学校で作っていくことをお願いします。